

平成25年度 学校自己評価表（計画段階）

那珂川町立 福岡女子商業高等学校

学校運営計画（4月）			評価（総合）		
学校運営方針	[教育目標] 人格の完成を目指し、徳育・知育・体育の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。 地域や社会に貢献しようとする「志」と「実践力」を持つ人間を育成する。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
<p>1 学校運営方針の下、職員のきめ細やかな指導により、生徒の多くは生き生きとした学校生活を送っているが、一部の生徒に学習意欲や規範意識の低下がみられる。今後、生徒に自律し・自立する力を付けていく必要がある。</p> <p>2 就職、進学等の進路実績は着実に伸び、成果を上げることができた。 就職は、就職率100%を維持し、進学も地元の難関大学に初めて合格するなど、実績を上げることができた。 今後、さらに実績を伸ばすため、確かな学力の育成やキャリア教育の充実を図る。</p> <p>3 女子商マルシェやボランティア活動、小中学校への学習支援等を通して、地域との連携を深め、地域の学校としての使命感や存在価値を高めることができた。今後、さらに連携を深めていくとともに、愛校心や学校への帰属意識の育成を図る。</p> <p>4 積極的な広報活動を行うなど、本校への志願数を増やすための取り組みの成果が志願倍率に反映された。 今後体験入学や中学校訪問をさらに充実させ、本校の特色の周知に努める。 また、マルシェ等の教育活動を通して、本校の良さを広く広報する。</p>	(1) 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある授業、分かる授業を展開し、学力の向上を図る。 ・ 学習規律や授業規律を確立し、基礎学力と専門的力量を充実させ、学習意欲の向上を図る。 ・ 家庭学習習慣を定着させる。 ・ 成績不振による進路変更を防止する。 ・ 			
	(2) 基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を守る、あいさつの励行、清掃・整理整頓の徹底など、規律ある生活態度を身に付けさせる。 ・ 遅刻や早退、欠席者数を減らす。 			
	(3) 豊かな人格の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の活性化や学校行事、生徒会活動の充実を図り、豊かな心を育み、規範意識を高める。 ・ 生徒に自律し、自立する力を育成する。 ・ 部活動加入を推進する。[加入率70%を目指す。] ・ 			
	(4) キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間の全教育活動を通して、適正な勤労観、職業観を育成するとともに、進路意識の高揚を図る。また、連結教育（継続学習）としての進学指導を充実する。 ・ [就職率100%を維持する。] 			
	(5) 本校関係団体や地域との連携協力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA、同窓会、後援会等との連携や地域との交流を通して、本校への理解を深めるとともに、地域の活性化に貢献する。 			
	(6) 人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全教育活動における人権・同和教育の推進を図り、諸研究会へ積極的に参加する。 			
	(7) 職員研修の充実と教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員研修を計画的に推進し、教職員としての資質向上を図る。 			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）		次年度の主な課題
総務部	校務分掌間や職員間をつなぐ機能を果たし、スムーズな校務運営を実現する。	職員が見通しを立てながら業務に取り組めるように、行事計画を早めにまとめ、職員会議や職員朝礼にて連絡する。			
		職員へ配布された資料を、必要な時に閲覧できるようにファイリングする。			
		情報管理係と連携しながら、ICT機器を活用した情報共有環境を整備する。			
	関係諸団体との連携を強化しながら、関係諸団体と本校の活性化を図る。	PTAの各委員会活動を支援し、保護者の本校教育活動への理解を深め、行事や活動への参加を促しながら、連携して生徒を育てるムードを高める。			
		翠香会（同窓会）に対して本校教育活動の成果を報告し、卒業生にも紹介いただきながら、在校生を多方面から支援いただく。			
		女子商会（後援会）より支援いただいている事項を整理し、今後必要な支援策について検討・協議する。			
	効果的な広報活動を行う。	情報が新しいうちに発信できるようにWebページの更新や広報誌「まなびいや」の発行を工夫する。			
		予め企画を練り、事前に掲載記事の提供を各校務分掌や職員に依頼する。			
		中学生とその保護者に対する広報活動を教務部と連携して強化する。			
研修部	職員に必要な校内研修を企画し実行する。また職員の研修にもつながる教育実習の充実を図る。	校内研修に関するアンケートを実施・集約することで希望の研修を把握した上で、校内研修を企画し実施する。			
		他校（那珂川町内の幼稚園・小・中学校も含む）の校内研修に関する情報の提供し参加を促す。			
		教育実習の充実を目的として、実習生には事前の指導・研修を行い、研修期間の充実を図る。			
	人権・同和教育を組織的・体系的に行い教職員としての資質向上を図る	各学期の人権・同和教育授業の充実を図るため、担任会や学年会で作成された内容の人権・同和推進委員会で検討、改善を行い、より良い			
		那珂川町の主催する那同研・学同研関連の行事、講演会・学習会に積極的に参加し資質の向上を図る。人権フェスタ・児童館こどもまつりには職員・生徒にボランティアの参加を呼びかける。			
		「あおぞら」などの視聴覚教材等の利用を促す。			
	校外研修に積極的な参加を促す	県教育委員会・教育センター主催の研修への積極的な参加を促す。			
研修誌「翠陵」に職員研修・各報告を掲載し記録として残す。					

平成25年度 学校自己評価表（計画段階）

那珂川町立 福岡女子商業高等学校

教務部	教科指導の充実をはかり、基礎学力を定着させる。	授業評価アンケートや授業参観週間等を活用して教員の教科指導力の向上をはかる。			
		各教科からの毎時間15分程度の宿題により、家庭学習の充実をはかる。			
		考査前1週間の放課後学習を学年と協力して実施する。			
	各部との連携をはかり、情報を共有化する。	学年主任会や研修会等で生徒情報を共有し、共通理解をはかる。			
		成績に関する説明会等において、成績不振者に対する指導を学年と協力して行う。			
		毎月の出欠状況や再試験後の成績に関するデータを各部に提供し、情報を共有する。			
生徒募集に関する情報発信や広報活動の充実をはかる。	各部との連携をはかりながら、中学校その他の教育関係機関への広報活動を積極的におこない、本校の特色や情報を発信する。				
	中学校への出前授業や中学生の高校訪問等の機会を積極的に活用し、充実をはかる。				
	体験入学、保護者対象学校説明会の内容を充実させる。				
進路指導部	キャリア教育の推進	進路講演・ガイダンスを活用し、適切な進路決定の一助とする。			
		進路相談・面接指導について、全職員の連携を図る。			
		進路だよりを定期発行し、進路意識の高揚を図る。			
	課外と模試の充実	外部模試や諸調査の結果をもとに面談を実施する。			
		資格取得と基礎学力の定着及び多彩な進学希望に応じた、課外授業を実施する。			
	就職・進学サポート体制の強化	学年部と連携し、生徒情報の共有を図る。			
就職指導員および職業安定所と連携し、積極的な職場開拓を実施する。					
三者面談（本人・保護者・担任）をサポートし、職業観・就労意識の向上と、有意な進学先選択の助言を行う。 3年生による進路体験発表を実施し、1・2年生の進路意識の高揚を図る。					
生徒指導部	規範意識を高揚させ、規律ある生活態度を身につけさせる。	時間や生徒心得・風紀規程など、約束を守る意識の高揚を図る。			
		集会等において、集団としての必要な行動を身につけさせる。			
		意識向上のため、犯罪防止講習会・携帯電話教室を実施する。			
	交通安全教育を行い、交通社会人としての意識を養う。	自転車通学免許制において、安全利用の学科・実技の講習会を行う。			
		ミニバイク安全利用講習会を適宜行う。			
		自転車点検・ミニバイク点検を定期的に行う。			
学校行事や部活動を通し、生徒の力を引き出す。	生徒会執行部を中心に活性化のためにあらゆる取り組みを行う。 また、生徒会執行部を中枢に全生徒の生き生きとした活動を促す。				
	部活動加入を推進し、加入率70%以上を目指す。				
	愛校心を育み、共感できる場を多く引き出す。				
保健環境部	校内環境の整備と充実。	日常の清掃活動や整理整頓の徹底。			
		環境美化活動の活性化に努める。			
		清掃担当者・使用者によるゴミ削減と分別。			
	健康で生きていく力の育成。	生徒の動向を早期に把握し職員間で共有する。			
		問題の早期発見によるスクールカウンセリングの実施と予防対策の共通理解を図る。			
		「敬愛」の精神を通して豊かな心を育み規範意識を高める。			
	組織活動の活性化と充実。	保健・清掃委員会による自主的な啓発活動。			
		生徒委員会と小中学校や地域との連携を図る。			
		高等学校保健会への積極的参加と他校との交流を図る。			

平成25年度 学校自己評価表（計画段階）

那珂川町立 福岡女子商業高等学校

第1学年部	生活指導の充実を図る。	高校生として品位ある生活態度の育成に努め、基本的生活習慣の確立を目指すため、家庭との連絡を密にする。			
		美化意識の高揚を図り、清掃活動を徹底させ、地域清掃活動等のボランティア活動を活性化させる。			
		挨拶の励行を促し、礼節を重んじる態度を培うとともに、正しい言葉遣いの徹底を図る。			
	学習指導の充実を図る。	日々の授業を重視し、家庭学習等自主的な学習の定着化を図る。			
		教科担任と連携し、主体的に課外授業・検定受験等に参加する学習態度を育てる。			
		読書の充実を図り、幅広い知識・教養を身につけさせる。			
	進路指導の充実を図る。	部活動・学校行事・学級活動等の活動を通して、リーダー性・協調性・実行力を養う			
		必要に応じて個人面談・三者面談等を実施し、生徒・保護者との意思疎通を図り、適切な進路指導を行なう。			
		進路指導部と連携し、様々な進路情報を通して、進路に対する意識の高揚を図る。			
第2学年部	女子商の中核となり、地域や社会に貢献できる生徒となる人材育成をする。	さまざまな行事・活動を通して進路実現に向けての動機づけを行う。常に目的意識を持たせて、成功体験や課題について日常生活への還元を図る。			
		HR活動や各行事を通して帰属意識の育成を図り、「気配り・心配り・仲間達成する」精神を養う。			
		積極的に生徒会活動参加や部活動入部を勧め、人格形成・自己実現の一助とさせながら、リーダーの育成を図る。			
	規律ある学校生活の中で、規範意識を定着させる。	団体生活における時間の重要性を意識させて、自己管理・健康管理につなげる。			
		風紀・ルールを理解させて、違反に対してはきめ細やかな指導を行う。			
		集中力や場に応じた雰囲気作りを心掛け、行動にメリハリをつける。			
	学習環境を整え、学力および資格取得向上を目指す	教室の美化・整備を心掛け、落ち着いた雰囲気での学習できる環境を整える。			
		それぞれの学科・コースの専門性を活かした進路実現に向けて目標を設定させ、基礎基本から積み重ねを大切にされた指導・高資格取得を取り組む。			
		生徒自身の学習課題や提出物の重要性を認識させ、家庭学習の充実を図る。			
第3学年部	生徒の進路実現を念頭に置いた細やかな指導を行う。	進路指導部との連携を密にし、進路に関する情報提供や各種講習会・セミナー等への積極的参加を促す。			
		個々の進路実現に応じた学習指導、面接指導を断続的に実施する。			
		授業外学習（家庭学習、放課後の自学自習等）を促し、学力の向上と学習習慣の確立を目指す。			
	実社会に対応できる能力や心構えを培う。	家庭からの協力も得ながら、欠席・遅刻・早退を可能な限り減らす。			
		常に実社会を想定させ、身だしなみや言葉遣いを意識させる。			
		定期的に集会を実施することで、個人の課題とは別に、学年としての成果・課題を共有させ、具体的な改善点を示す。			
	最上級生として、学校や地域に貢献できる人材を育成する。	学校行事をはじめ学校生活全般において、下級生を牽引・支援できる能力や人間性を育成する。			
		校外活動（ボランティア活動、出前授業等）への積極的参加を促し、地域に貢献できる人材を育成する。			